

選考結果総括表

府省庁名 文部科学省

役職		現任者				任命予定者			選考経過
		氏名	年齢	当初就任 年月日	前職	氏名	年齢	現(前)職	
(独)日本学術 振興会	理事長	小野 元之	66	H15.10.1	文部科学事務次官 日本学術振興会理事 長 [OB]	安西 祐一郎	65	慶應義塾学事顧問、慶應義塾大学教授	応募総数 11名 ↓ 書類選考 ↓(3名) 面接 ↓(1名) 任命権者が選任
(独)日本原子 力研究開発機 構	監事	牛嶋 博久	65	H22.1.1	会計検査院第4局長 (株)エム・シー・シー常 勤監査役 [OB]	高山 丈二	60	会計検査院第5局長 国立国会図書館専門調査員 [OB]	応募総数 5名 ↓ 書類選考 ↓(3名) 面接 ↓(2名) 任命権者が選任

※ 公務員OB該当者は、現任者及び任命予定者の「現(前)職」欄に[OB]と記載すること。

役職		現任者				任命予定者			選考経過
		氏名	年齢	当初就任 年月日	前職	氏名	年齢	現(前)職	
(独)国立文化財機構	理事(個別業務管理担当)	田辺 征夫	66	H21.4.1	(独)国立文化財機構 奈良文化財研究所長	松村 恵司	61	文化庁文化財部文化財鑑査官 (独)国立文化財機構 奈良文化財研究所客員研究員(非常勤) [OB]	応募総数 13名 ↓ 書類選考 ↓(3名) 面接 ↓(3名) 任命権者が選任 ↓ 所管大臣に協議

※ 公務員OB該当者は、現任者及び任命予定者の「現(前)職」欄に[OB]と記載すること。

(独)日本学術振興会役員名簿新旧対照表

役職	現任者						就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日
	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
公募 理事長	小野 元之	66	H15. 10. 1	4	H23. 9. 30	文部科学事務次官 日本学術振興会理事長	安西 祐一郎	65	慶應義塾学事顧問、慶 應義塾大学教授	文部科学大臣	H23.10.1
理事	清木 孝悦	54	H22. 7. 31	2	H23. 9. 30	文化庁文化部長 【役員出向】				理事長	
理事	小林 誠	67	H19. 10. 1	2	H23. 9. 30	大学共同利用機関法人高工 エネルギー加速器研究機構理 事(兼)素粒子原子核研究 所長				理事長	
監事	會田 勝美	67	H21. 10. 1	2	H23. 9. 30	東京農業大学教授				文部科学大臣	
監事 (非常勤)	京藤 倫久	62	H21. 10. 1	2	H23. 9. 30	戸田工業株式会社常務執行 役員(兼)創造本部長				文部科学大臣	

(独) 日本学術振興会理事長選任理由

本法人の使命は、学術研究の助成、研究者の養成のための資金の支給、学術に関する国際交流の促進、学術の応用に関する研究等を行うことにより、学術の振興を図ることにある。

そうした組織にあって、本ポストには、そのミッションとして、本法人の基本的な経営方針を立案し、中期目標及び中期計画に基づき、科学研究費補助金等による研究助成、国の助成事業に関する審査・評価、特別研究員制度による研究者養成等、法人全体の運営管理業務を総理することが求められる。

本件公募に対しては、11人の応募があり、選考委員会による書類選考で3人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、理事長として最適任である者1人を任命権者である文部科学大臣に提示し、これに基づき、大臣が安西 祐一郎氏を選任したところである。

安西氏は、理系出身であるが国立大学の文系学部での教育・研究の経験もあるなど幅広い経験と知見を有しており、学术界や大学経営においてもリーダーとしての経験を有している。特に、私立大学の理事長・学長として大規模な学術研究・教育組織の経営、改革の立案と実践等多大な経験を有するとともに、本法人の業務についても高い見識と明確なビジョンを有しており、的確に業務を遂行できる十分な能力を有している。

また、安西氏は、中立性・公平性を担保して業務を遂行できる力を有しているものと考えられ、学術振興についての熱意、ビジョン、組織運営能力、倫理観、本法人理事長としての方向性を掴んでいて、理事長としての指導力は高いものとする。

文部科学大臣もこれら能力や経験等に大いに期待しているところである。

選考委員会の属性について

【文部科学省】

- ・独立行政法人日本学術振興会

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

- ・団体役員 2名
- ・大学教授 1名
- ・弁護士 1名
- ・公認会計士 1名

計 5名

(独)日本原子力研究開発機構役員名簿新旧対照表

役職	現任者						就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日
	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
理事長	鈴木 篤之	68	H22. 8. 17	5	H27. 3. 31	東京大学大学院工学系研究科教授 内閣府原子力安全委員会委員長				文部科学大臣	
副理事長	辻倉 米藏	66	H22. 10. 1	2	H24. 3. 31	電気事業連合会顧問				理事長	
理事	戸谷 一夫	54	H21. 7. 14	2	H24. 3. 31	文部科学省大臣官房審議官 (高等教育局担当) 【役員出向】				理事長	
理事	片山 正一郎	61	H19. 8. 1	2	H24. 3. 31	内閣府原子力安全委員会事務局長 文部科学省大臣官房付				理事長	
理事	野村 茂雄	61	H21. 10. 1	2	H24. 3. 31	(独)日本原子力研究開発機構執行役(東海研究開発センター核燃料サイクル工学研究所長)				理事長	
理事	岡田 漱平	63	H19. 10. 1	2	H24. 3. 31	(独)日本原子力研究開発機構量子ビーム応用研究部門副部門長				理事長	
理事	三代 真彰	63	H17. 10. 1	2	H24. 3. 31	経済産業省 原子力安全・保安院次長				理事長	
理事	横溝 英明	63	H19. 10. 1	2	H24. 3. 31	(独)日本原子力研究開発機構執行役(東海研究開発センター原子力科学研究所長)				理事長	
理事	伊藤 和元	64	H19. 10. 1	2	H24. 3. 31	(独)日本原子力研究開発機構執行役(敦賀本部高速増殖炉研究開発センター所長)				理事長	
公募 監事	牛嶋 博久	65	H22. 1. 1	2	H23. 9. 30	会計検査院第4局長 (株)エム・シー・シー常勤監査役	高山 丈二	60	会計検査院第5局長 国立国会図書館専門調査員	文部科学大臣	H23.10.1
監事	山根 芳文	59	H21. 10. 1	2	H23. 9. 30	(独)日本原子力研究開発機構人事部長				文部科学大臣	

(独) 日本原子力研究開発機構監事選任理由

本法人は、日本で唯一の原子力の総合的研究開発機関として、原子力の研究、開発及び利用の促進に寄与することを使命として、原子力に関する基礎・応用研究、核燃料サイクル技術開発、放射性廃棄物の処分、原子力に関する人材育成等幅広い業務を実施している。

このため本法人の監事には、法人の業務の実態を正確に把握した上で、業務の執行状況の適正性、財務及び会計の適正性を監査し、監査結果を理事長に通知するとともに、必要に応じ、理事長又は文部科学大臣に意見を提出することが求められている。

本件公募に対しては、5人の応募があり、選考委員会が書類選考により3人の面接候補者を選定した。面接を辞退した1人を除く2人の候補者に対し、選考委員会が面接を行った上で、適任と判断される2人について、順位を付して任命権者に提示し、これに基づき、任命権者である文部科学大臣が高山丈二氏を選任したところである。

高山氏は、会計検査院において局長職を歴任しリーダーシップを発揮した経験が豊富であり、自己の判断に基づき、監事の業務を遂行できる十分な能力、及び国の機関や公法人の会計検査に関する十分な知識と経験を有している。特に同氏は、独立行政法人の共通の課題について横断的検査を指揮した経験等を有しており、独立行政法人の業務や検査に精通している。また、原子力などのエネルギー分野の調査研究に従事した経験から原子力政策の動向や本法人の役割等についての理解が深い。同氏は、監事として十分な熱意、意欲を持ち、また、中立性・公平性のもとに業務を遂行できる高い倫理観を有していることから、本法人の監事として職責を果たすことが十分に期待できる。

選考委員会の属性について

【文部科学省】

- ・ 独立行政法人日本原子力研究開発機構

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

・ 大学教授	1名
・ 弁護士	1名
・ 公認会計士	1名
・ その他	1名
計	4名

(独)国立文化財機構役員名簿新旧対照表

役職	現任者						就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日
	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
理事長	佐々木 丞平	70	H19.4.1	4	H25.3.31	(独)国立博物館理事				文部科学大臣	
理事	亀井 伸雄	63	H22.4.1	4	H25.3.31	文化庁文化財部文化財鑑査官 (公財)文化財建造物保存技術協会常務理事				理事長	
理事	田辺 征夫	66	H21.4.1	4	H25.3.31	(独)国立文化財機構奈良文化財研究所長	松村 恵司	61	文化庁文化財部文化財鑑査官 (独)国立文化財機構奈良文化財研究所客員研究員(非常勤)	理事長	H23.10.1
理事	辰野 裕一	57	H23.9.1	4	H25.3.31	文部科学省大臣官房文教施設企画部長【役員出向】				理事長	
監事 (非常勤)	雪山 行二	64	H19.4.1	2	H25.3.31	横浜美術館長				文部科学大臣	
監事 (非常勤)	服部 彰	63	H22.4.1	2	H25.3.31	公認会計士				文部科学大臣	

公募

（独）国立文化財機構理事（個別業務管理担当）選任理由

本法人の使命は、貴重な国民的財産である文化財の保存及び活用を図ることにある。

そうした組織にあって、本ポストには、そのミッションとして、まず、法人の重要な経営方針の立案に参画するとともに、法人における文化財の調査・研究及び保存修復の業務を所掌、統括し、当該業務に係る平成23年度から27年度までの中期目標・中期計画・各年度計画の達成に向けて的確に業務を遂行することが求められる。同時に奈良文化財研究所所長として、同研究所に係る業務を分担管理し、その所掌事務に関して職員を指揮監督することが求められる。

本件公募に対しては、13人の応募があり、選考委員会による書類選考を通過した当該3人の候補者について、選考委員会が面接を行ったうえで、順位を付して任命権者に提示し、これに基づき、文部科学大臣との協議を経た上で、任命権者が松村恵司氏を選任したところである。

任命理由は、文化庁などにおいて組織のマネジメントの経験を有し、また、33年にわたり、発掘調査や埋蔵文化財の調査研究などの文化財全般の保護に携わっているなど、職務内容書で必要とされる能力、経験が十分にあり、かつ、本法人の経営運営改革を実施するという明確な目的意識と情熱を持つことなどが、選考委員会による書類選考及び面接を通じて最も高く評価されたことによるものである。さらに、同人は、その在職期間の多くを奈良文化財研究所に在職していたという経歴を有しており、文部科学大臣及び理事長もそうした能力、経験、情熱等に大いに期待しているところである。

選考委員会の属性について

【文部科学省】

- ・ 独立行政法人国立文化財機構

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

・ 大学教授	2名
・ ジャーナリスト	1名
・ 団体役員	1名
・ 弁護士	1名
・ 地方公務員	1名
・ その他	1名

計	7名
---	----